

# かんしや



4月号

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2026  
Vol.248



## 私たちのまちを支える、 あたたかな力

2月27日開催、地区社協G20定例会の様子

本会では、地区社協G20委員<sup>1)</sup>の皆様と定期的に話し合いの場を設け、情報交換や地域ニーズの掘り起こし、研究協議を行うことで、きめ細かい地域活動を目指しています。

1) 市内20の地区社協から選出された委員による協議体



「住み慣れたまちで、自分らしく、いつまでも暮らしていきたい」そんな思いを、多くの方が大切にしながら暮らしています。

写真に写っているのは、地区（校区）社会福祉協議会で活動されている皆様です。「自分たちのまちは自分たちで良くしていこう」と、住民同士の交流や支え合いを大切にしながら、住民の皆様が安心して暮らせるよう、さまざまな活動に取り組んでくださっています。

私たちのまちのあたたかなつながりは、こうした皆様の力に支えられています。

しかし一方で、少子高齢化や人口減少が進む中、担い手不足が課題となっています。その影響で、地域活動の縮小や継続が難しくなり、私たちの暮らしに欠かせない人とのつながりや、安心・安全な生活が維持できなくなるおそれもあります。

今号では、1月22日に開催した諫早市社会福祉大会での松原明氏の講演をヒントに、地域の新たな担い手づくりについて考えていきます。



諫早市社会福祉大会での松原明氏の講演を要約してご紹介します。皆様の活動のヒントになれば幸いです。

## 担い手不足をどう乗り越える？ ～協力の輪の広げ方～

〈講師〉NPO法人 協力アカデミー  
代表理事 松原 明 氏



1960年生まれ。1994年「シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」を創設し、NPO法人や認定NPO法人制度などNPO支援制度の創設を推進した。

協力を築くための技術を誰でも学べるようにオンラインスクール「協力アカデミー」を開設。

## 協力でいちばん大事なのは「相利（そうり）の開発」

### ■ 担い手不足の現状と一般的な原因

内閣府調査では、自治会などの86%が役員の担い手不足、82%が役員の高齢化を課題として挙げています。この課題はPTAや地域団体、中小企業など、分野を問わず共通する問題です。

背景には、少子高齢化・人口減少に加え、共働きの増加や高齢者の就労などライフスタイルの変化などがあります。

### ■ 実はやりたい人が多いけど…

内閣府の社会意識調査では、ボランティアや社会貢献活動に関心のある人は8割以上います。一方で、実際に活動している人の割合は、1986年から2016年まで約25%のまま変わっていません。つまり、「やりたい人」は多いのに、「やっている人」が増えない。このギャップが長く解決されないまま続いています。

### ■ 参加しない人の5つの理由

参加しない理由には、①メリットが見えない、②入り方が分からない、③負担が大きい、④一部の人に仕事が偏る不公平感、⑤無理強い感があるの5つに集約できます。これらを解決するには、メリットを上げて負担感を減らし、無理強い感、入りにくさ、不公平感を減らすことが大切です。

### ■ 全員が得をする一相利とは

協力を得ようとする、「地域のために正しいことをしているのに、なぜ分かってもらえない」「なぜ広がらないのか」という不満が生まれます。さらに、「あの人は自分のことしか考えていない」と考えてしまいます。

これは多くの方が、協力＝自分のやりたいことを相手に手伝ってもらおうことだと考えているからです。

でも、協力の本質はそこではない。人類の歴史を見ても、**協力は「誰かのために我慢する行為」ではなく、それぞれが自分のニーズを満たすために一緒にやる行為です。**旧石器時代のマンモス狩りでも、肉が欲しい人、毛皮が欲しい人、道具が欲しい人が集まって、結果として**全員が得をする。これが“相利”**です。

### ■ 地域猫活動の相利—一緒にやると得がある

野良猫の問題は、よく住民トラブルになります。この解決策として、地域猫活動があります。

地域猫活動は、「野良猫に不妊・去勢手術をして、餌やりや糞尿の管理を地域で決めて行う。そうすると、猫は増えないし、騒音や被害も減る。結果として、住民トラブルも減り、自治体の殺処分も減る」つまり、猫好きも、猫嫌いも、住民も、町内会長も、自治体も、それぞれが「自分の困りごと」を解決できる仕組みです。

象徴的なのがある町内会長の話です。その人は「猫が大嫌い」と言い切るほど猫嫌い。でも地域猫活動を始めてから、猫を見なくなり、苦情も減った。だから「猫は嫌いだけど、この活動は必要だ」と支援しています。

大事なのは、同じ思いになることではない。立場や考えが違って、**「一緒にやると、それぞれに得がある」構造をつくれれば、人は協力できる。**それが協力を広げるコツです。

### ■ どう相利をつくるかが大切！

確かに人口は減り、高齢化も進んでいます。でも、担い手不足の本当の原因はそこだけではない。「参加者を増やしたい側のやり方」と「参加したい人のニーズ」が合っていないことが大きいです。

参加したい人が求めているのは、メリットがきちんとあり、負担が重すぎないことです。

だから、担い手を増やしたいなら、**相手が何をしたいのか、何に困っているのかを考え、どう相利をつくるか、どう負担を下げるかを設計することが大切です。**

うまくいっている団体は、必ずこの作業を地道にやっています。協力者を増やすことは、気合や根性ではなく、きちんと考えれば再現できることです。

全国的に担い手不足は続きますが、やり方はあります。ぜひ皆さんの活動でも、相利の仕組みづくりに取り組んでみてください。

まずは、ご自身の活動が「どのようなメリットがあるのか」を改めて考えることから始めてみませんか。活動のメリットを分かりやすく“見える化”することで、そのメリットを必要としている方に届きやすくなります。

そして、それが新たな参加や協力のきっかけにつながっていくのではないのでしょうか。



## ボランティアセンターを ご存じですか？

## 担い手づくりのお手伝い ～諫早市ボランティアセンターのご案内～

本会では、ボランティアセンターを設置し、地域の担い手づくりのお手伝いをしています。「何かできることはないかな」という思いと、「困った」「仲間がほしい」という人をつなぐ支援をしています。

地域で  
活躍中！

### ＝ボランティアセンター・レポート＝

#### 高校生がつなぐ学びの時間

高校生の本田羽音さんは、将来、教育の分野に進学したいという思いから、子どもと関わる経験をしたと考えていました。学習支援ボランティアを必要としている団体に紹介したところ、「思いに合う活動に出会えた」と、一人ひとりの学びに寄り添いながら活動しています。「わかった！」という笑顔や「また来たい」という言葉に励まされ、自身も成長しているそうです。部活動や勉強の合間での活動ですが、学生でも社会の役に立てるやりがいを感じて続けています。誠実な活動ぶりから子どもたちの信頼も厚く、活動先からは「大変助かっている」との声が寄せられています。



身近なところで  
ボランティア！

#### 収集ボランティアを始めてみませんか？

～プルタブや使用済み切手を受けつけています！～

本会では、空き缶のプルタブは換金し諫早の地域福祉活動に、使用済み切手はユニセフを通じて世界中の子ども達のために活用していただいています。皆さんも、誰かのためにできることから始めてみませんか？

ポイント

#### 使用済み切手の回収



- 切手の周囲約1cmを切り取ります！
- 消印も価値があるので切手とセットで！
- 破れたり、欠けたりした切手は避けて下さい。
- あらかじめ印刷された切手等はNGです。

ポイント

#### プルタブの回収



- 回収時には、怪我に注意して下さい！

皆さまのご協力を  
よろしくお願いします！

地域の支え合いは、特別なものではありません。本会では、「できることを、できるときに、できる範囲で」一人ひとりの思いを大切にしながら、地域の担い手づくりをこれからも応援していきます。



ボランティアに関する相談・問合せ ☎24-5100

## お知らせ

### 福祉体験学習をしてみませんか？

本会では子どもから大人まで「福祉」を身近に感じ、考えるきっかけとして「福祉体験学習」を行っています。体験学習を通して地域でお互いを理解し、誰もが支え合える地域共生社会を目指しています。

#### 福祉体験学習の種類

- 車いす体験学習
  - 視覚障害者疑似体験
  - 高齢者疑似体験
  - 知的障害者疑似体験
- ※認知症、手話、点字など他団体の取り組みも紹介しています。



#### 対象者

- 市内の学校や企業
- 団体・グループ  
少人数でも可能

★ 依頼の流れ ※実施希望日の2か月前までにご相談ください！

#### ① 相談

実施日やどんな学習をしたいのかご相談いただき、一緒に考えます。

#### ② 依頼書の提出

依頼書をご記入いただき、本会にご提出ください。

#### ③ 打ち合わせ

当日の動きや内容について打ち合わせを事前に行います。

#### ④ 体験する

実際に自分の体で感じてみましょう。

申込・問合せ ☎24-5100



諫早市ボランティアセンターに登録している団体を紹介します。

安心して暮らせるまちづくりのために、多くの人が、できることを、できる範囲で、ボランティア活動に取り組んでいます！



長崎県“人間と性”教育研究協議会

誰もが生きやすい社会になるように、性を学び直すための活動の推進をしている団体です。

活動日 奇数月第4土曜日 午後2時～4時30分 活動場所 主に諫早市社会福祉会館

長崎県“人間と性”教育研究協議会（略称：長崎性教協）は、研究実践を深め36年になります。毎年、性教育長崎セミナーを開催し、性についてともに学びあう場を大切にしてきました。

性について学ぶことは、自分自身を大切にすることにつながり、気持ちが楽になったり、周囲との関係も良好になったりするきっかけになります。ホームページでは、絵本やビデオなども紹介しています。ぜひ活用してください。

また、長崎性教協では「出前性教育」も実施しています。施設職員の人や保護者の皆様と事前に共通理解を図ることを大切にしながら、それぞれの実情に応じた内容で行っています。布製模型や掲示物などの教材を活用し、子どもたちに分かりやすく伝える工夫をし

ています。これまでに、学童クラブや放課後等デイサービス、小・中学校など、さまざまな施設・学校からご依頼をいただいているほか、大人向けの座談会も行っています。性について共に学び合ってみませんか。

ご興味のある人は、お気軽にご相談ください。



学童クラブでの出前性教育

連絡先

E-mail : naseikyokyo@yahoo.co.jp  
☎ : 090-5291-9843  
事務局（村瀬恵美子）  
ホームページはこちらから➡



ライブ ウクレレ

各地域のふれあいいきいきサロンなどでライブウクレレボランティア音楽会を開催しています。

活動日 月1～4回 活動場所 主に西諫早地区の公民館

ライブ ウクレレは、令和4年3月にボランティア団体を設立し、今年で4年目を迎えようとしています。

主な活動として、地区（校区）社会福祉協議会が主催する「ふれあいいきいきサロン」において、音楽会を開催しています。

高齢者の孤立や引きこもりが社会問題となる中、私たちはこれらの活動を通して、地域の高齢者同士の交流促進や、地域共生社会の一助となるよう、日々活動を続けています。

サロンの利用者からは、「ウクレレを体験できてよかった」「音楽の楽しさを味わうことができた」など、多くの喜びの声をいただいています。

このような活動を継続してきた結果、今年1月に開催された諫早市社会福祉大会において、諫早市長より

出口ボランティア奨励賞を受賞しました。

今後もこの受賞を励みに、ウクレレの技術向上に努めるとともに、ふれあいいきいきサロンの利用者がより一層楽しみ、充実した時間を過ごしていただける音楽会を目指して活動していきたいと思っています。

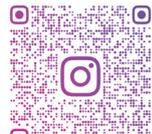


ウクレレコンサート



出口ボランティア表彰 授賞式

Follow me



ISAHAYASYAKYO294

編集発行

社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会  
〒854-0045 諫早市新道町948番地  
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101  
ホームページ https://isahaya-shakyo.jp  
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

4月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

|      |      |   |
|------|------|---|
| 一般相談 | 開設日  | 月曜日～金曜日（祝日を除く）                            |
|      | 開設時間 | 午前10時～午後3時                                |
|      | 場所   | ふれあい福祉相談センター（諫早市社会福祉会館内）<br>【専用電話】23-7022 |

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

|        |      |                          |
|--------|------|--------------------------|
| 無料専門相談 | 開設日  | 4月24日（金） 弁護士             |
|        | 開設時間 | 午後1時30分～4時               |
|        | 場所   | 諫早市社会福祉協議会<br>電話 24-5100 |

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報紙に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆さまから募集しています。